



兄×4姉妹の日常

次女

のび
長女

三女

四女

さん
...ささき
おは

...ささき
おは

のび

あ、お兄ちゃんおはよー。
ご飯は冷蔵庫にあるから
レンジでチンして食べてね。

おはよー。サキ
またキッチンで本読んでるの？
ソファーに座って読んだらいいのに。

あはは。
いやーなんかこっちのが
落ち着いて読めるんだよねー。

外の景色も見えるし
私のお気に入り。

そっかさっか。
ゆっくり読んで。

うん

こいつは妹のサキ。
俺たちは4女1男の5人兄妹だ。
サキは次女で一番しっかり者だ。
妹たちの世話や俺のことまで気にかけてくれる。
つついっつも甘えてしまいがちだ。

両親は二人とも共働きでよく出張にでてる。

だから俺たち兄妹は小さい頃からお互いを支えてきた。
とくに母が出張の時は妹たちが俺にべったりだった。

ゴキ
キキ

お互いの寂しさを埋め合っただけ妹たちと俺は昔からこうやってスキンシップをとりつつそのままエッチする流れができた。

まあ今では寂しさをかじやなく普通にお互いの性欲を発散させてるみたいなのところはあ。

んっ♡

んっ♡

んっ。
そろそろみんな起きてくるよ？♡

もうお兄ちゃんたら昨日したばっかじゃん？♡ 私読みたい本あるんだけどな！

大丈夫大丈夫 そのまま読んでいいから。

え？

あっ

大丈夫今日休みだしまだぐっすりだよ。

ん♡

ちゅ♡
ちゅ♡
ちゅ♡

サキはおっぱいばいをいじると

すぐエッチなモードに入る。
お互いの寂しさを埋めたい。
俺は昔から多少の無理も
聞いてくれたりする。
今のまま下りたらずる。

やだ…んっ、おにいちゃん
またそこばかり
私がそこ弱いのが知ってるでしょ
…んっ

んっ♡
あ

あん

あん
口休みだ
まだぐっすりだよ。

あれ？
そうだったか？

もうっ
昨日も同じこと言ってたー。あんっ
これやられると声出ちゃうから…
みんな起きちゃうでしょう…

あんっ♡

おっぱい

サキのおっぱい好きなんだから
しようがないよ。
妹の中でお前のおっぱいが
一番揉み心地がいいんだよ。
あとまだまだ起きないって

んもう♡

おっぱい

おっぱい

おっぱい

んっ

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

どうしたサキ
本読んでいいんだぞ？

本なんか読めるわけ
無いじゃない…。

あっ♡

んっ

そっかそっかごめんごめん。
じゃあしばらくこっちに
集中して早朝エッチを
楽しもうじゃないか。

も

んん

んん

んっ…。
何言ってるのよ
この状態で…んっ

入ってくる…

寝起きで朝立ちしたまま
妹のお〇んこに入れるとか
最高。

~~あー~~

ふあー。
おはよー！

朝からお盛んですねえー
昨日も夜中までやってたし
おかげでこっちは睡眠不足だよ。

お、おはよーミキ。

おはよー。
お前がこの時間に
起きてくるって
珍しいな。

そりやもうサキ姉の
声家がじゅうに響いてるからね。

そ、そんなに！？
恥ずかしいっ。

たしかにサキの声は大きいからなあ……。



あはははっ

実は近所まで聞こえてたりしてねー。
あはははっ

んんん

ええええー！？

あははは

おにいちゃんっ
んもっとなんか...

くそうつミキのやつ
せつかくの早朝エッチを邪魔
しやがって！

あはは

あはは

んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

ミキがあげさなだけだから
心配ないってっ。

まあむこうは俺たちのエッチで
眠れなかつたんだから怒るのも無理ないか...



ねーお姉ちゃん
朝ごはんはー？

あん

冷蔵庫に昨日の残りが
入ってるから
レンジでチンして食べて。

あ

えー昨日の残りー？
私あれ苦手ー

インスタントもあるから
…んっ…それ食べて…あんっ

えー

わがまま言ってるんで
自分で作ればいいだろー！

うるさいなーっ
兄ちゃんに聞いてないだろー！
ご飯食べたいけど
誰かさんがキッチンで
腰振ってるから無理なのー！

今日はやけに不機嫌だな。
まあ睡眠も食事も邪魔されたんだから
仕方ないか。
悪いのはこっちのほうだ。



さすがにこれ以上長引かせるとミキが可哀そうだ。
俺は大好きな騎乗位でフィニッシュしようとして
サキに合図した。

あ

アキ

んんっ...
あもちらこっ...?

あ

ん

ん

あああめちやんちや
あもちらこっ

この体位のチ○ポが食われていく感じが
たまらない。
ゆっくりと先っぽがらとんどん
又チャっとしたお○んこに入っ...。

アキ

ん

ん

お兄ちゃん
私もうだめえっ
いつちやいそろうっ!

サキの中気持ちいい!?
お〇んぽ気持ちいい?!

ねえまじで声大きいって
ユキ姉もカナもまだねてるんだからさ
それに絶対近所まで聞こえてるってー

俺ももうやばこい
くっ...

ああっサキの
お〇んぽは最高だよ!

ねえ聞いているー?

いくよっ!

イクよ!?
もうだめっ!

おにいちゃんっ

あ

は

は

あ

は

あ

あ

あ

あ

あ

あ

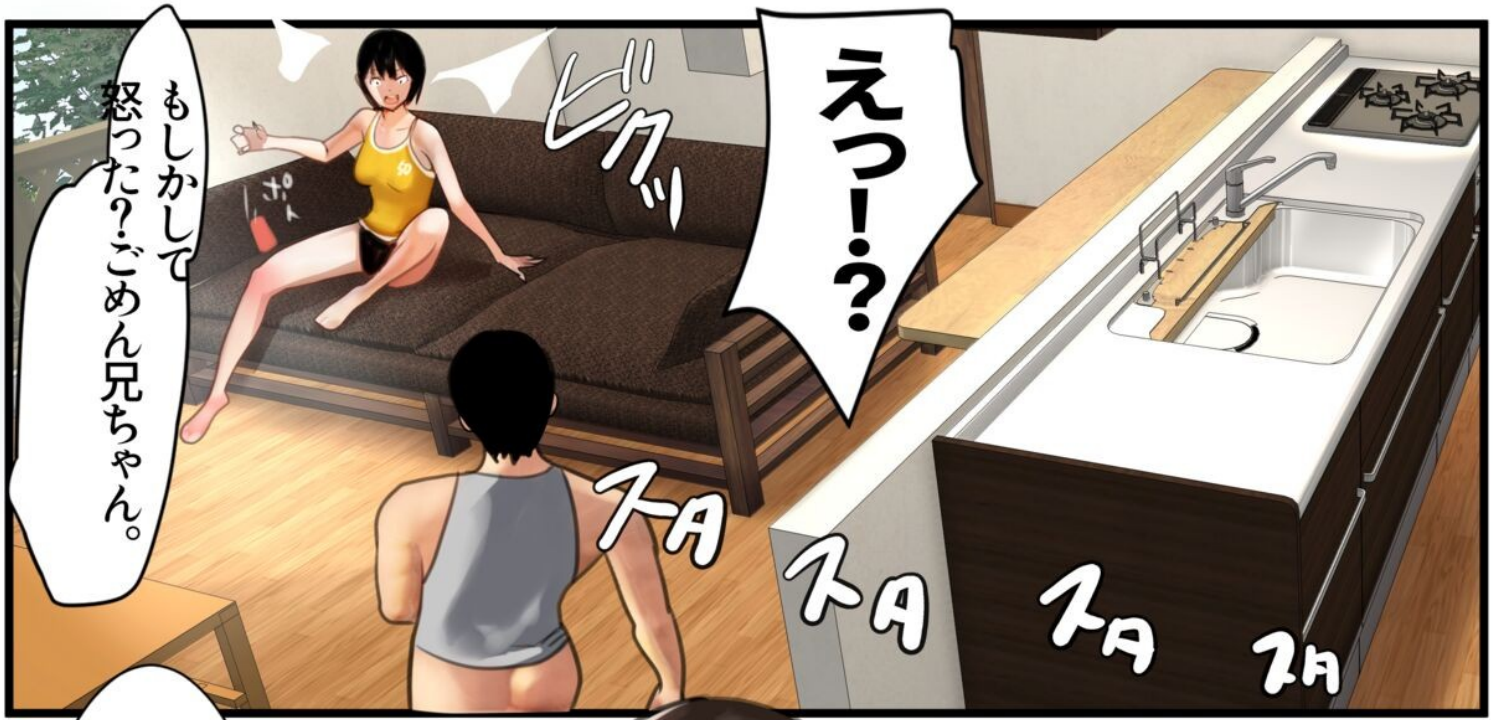
は

あ

は

♡

♡
♡
♡
♡



えっ！？

ビクッ

アア

アア

アア

アア

もしかして
怒った？ごめん兄ちゃん。



いや許さんぞミキ。
起してしまったのは
悪かったと思ってるが
エッチの途中に邪魔するのは
良くないなっ！

あゝ

たじ

たじ

さっど...。
この前は中に出せなかったからな！。
今回はたっぷりと中だしさせてもらおうかなあ。

こいつは三女のミキ。
姉妹の中でいつも俺に難癖をつけてつかかってくる。
だけどこういふ遠慮なく言い合えるってのは大切な気がする。
まあなんだかんだで兄の俺には結局勝てないんだだけとね……

いや…、兄ちゃんごめんて。
まじでもう反省してるから。

あわわ…

あたし今日これから
友達と出かけないとだからさ…。

だめだ。
お前は俺とサキのモーニングエッチに
チャチャ入れて雰囲気壊したんだからな。

おかげでこっちはまだ
ぜんぜん収まらないんだからな！

えー？
それはいつもじゃ？

なんだとー！？



ミキとのえっちはいつもこのパターンが多い。
言い過ぎたのを俺がち○こを使って
反省させる。
した後はまあ大人しく言うことを聞くって感じ。

スリ
スリ

スリ
スリ
あ♡

俺は妹たちの弱いところを熟知している。
ミキはあそこち○こを擦りつけてやると
感じるらしい。

あ…
そこは…

やだっ…んっ
だめっ…♡

トコ

お前はほんとにもう
気持ちよくエッチしてる時に
邪魔するのは人として
最低だぞ!?

スリ
スリ

スリ
スリ

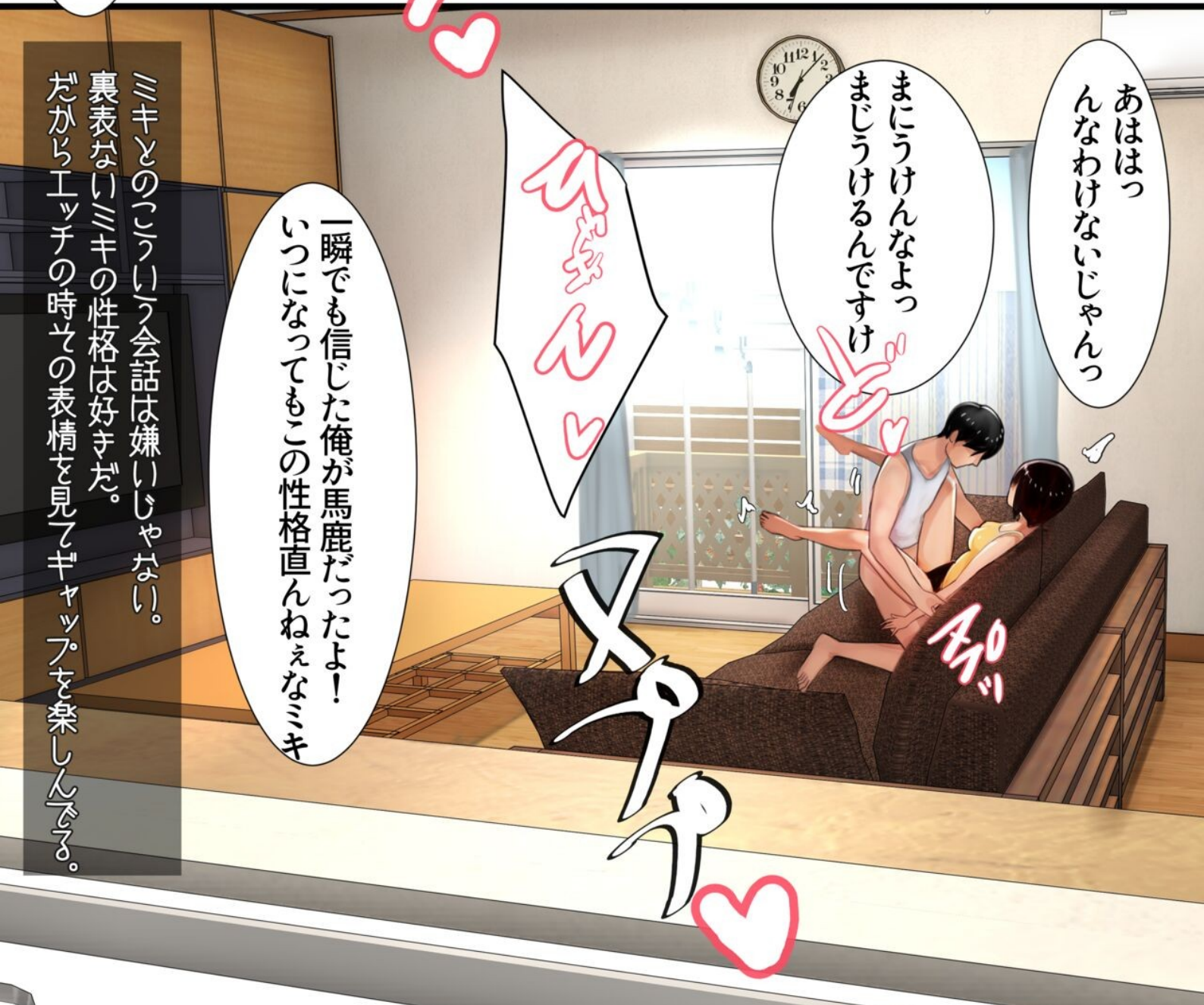


み、ミキ…。
そんなに俺の事…。



ミキもお兄ちゃんのこと
大好きだもんっ

たっただって
お兄ちゃんサキとばかり！
私もお兄ちゃん独占したいもんっ



あははっ
んなわけないじゃんっ

まにうけんなよっ
まじうけるんですけ

ミキさん♡

一瞬でも信じた俺が馬鹿だったよ！
いつになってもこの性格直んねえなミキ

ミキとのこつこついう会話は嫌いじゃない。
裏表ないミキの性格は好きだ。
だからエッチの時々の表情を見てギャップを楽しんでる。

又♡

おっ

おっ

お前またおっぱい
大きくなったんじゃないか？

やだっ大きいの気にしてるのに。
部活の時周りがめっちゃ
見てくるの嫌なんだよ。

まじかー。
それはまた問題だなあ

ん

ん

おっ

おっ

ん

ん

ん

こちらとしてはおっぱい大きいのが最高なんだが
他の男に大事な妹のおっぱいをおかずにされるのは
腹立たしいものだ。



んっ…あんっ

あっ

普段相談できないことも
エッチをしながらだとすんなり
話せたりするもんだ。
とくにミキの場合はそれが多い。

おっぱいが大きいのは
お前の魅力だから気に入んな。
俺はお前のおっぱい好きだぞ！

逆に日常ではそこまで会話はなく
挨拶とかその日のちよっとしたこと
くらいしか話さない。
だからこうやってエッチで
コミュニケーションを図るのが大事だと
俺は思ってる。

あんっ

あんっ

あっ

はっ…んっ…あんっ
何言ってるんだよ。
目立つのが嫌なんだよ。
こんな大きいんだぞっ

やんっ

それにしてもおっぱいが大きすぎて
悩んでるとか贅沢な悩みだ。
まったく…。

バカはお前だっ
大きくて形も良いおっぱいなんて
なかなかないんだぞ！

んっ



なんだかんだでミキは
お兄ちゃんの事好きなんだよなあ。
なんだかホツとしちゃう。

それにしても声響くなあ…
私もさっきあんなんだったのかな。
もつと抑えなきゃ…。

あっ

あっ

あんっ

いやんっ

あん

んっ

あんっ

はあ…はあ…

はあはあ…。

ミキ、ちよつと体位変えるぞ
上になってくれ…。

うん…っ

それにしても朝から二連続か…。
昨日の夜中までサキとして朝もして
俺の性欲は一体どうなってるんだ。
我ながら恐怖を感じる。

しかし全然まだまだいける。
やろつと思えば今日あと2回はいけるなあ
マキ(長女)はまだ寝てるしな。
起きたら相手してもらおうかな。
楽しみだ…。

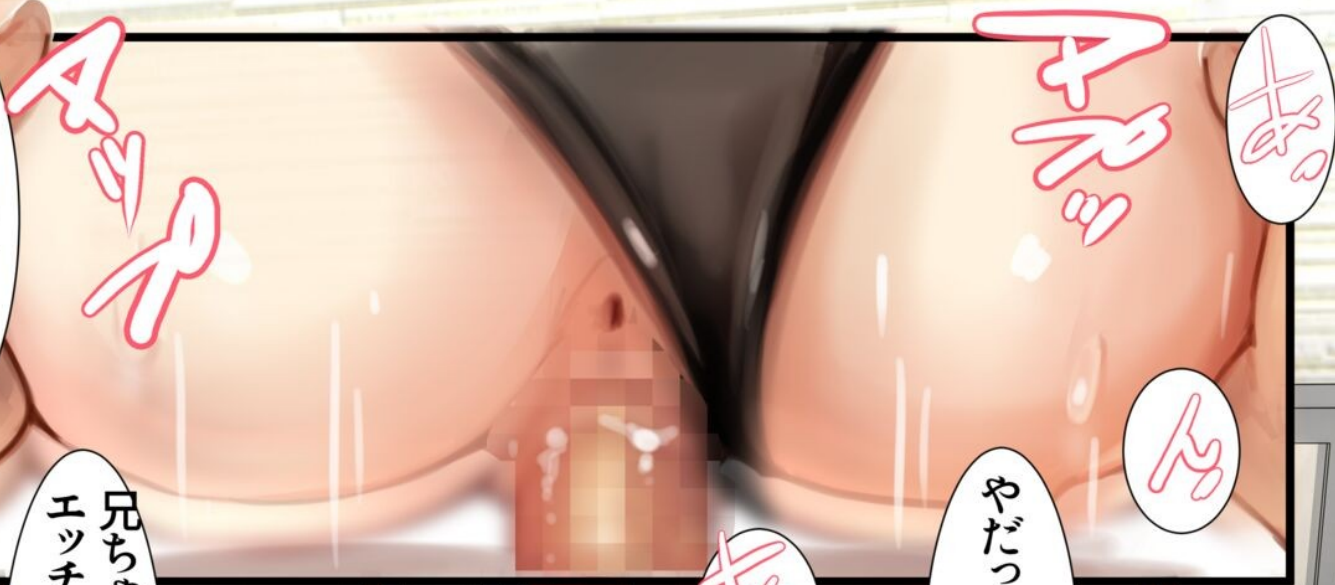
そーいやお前
友達と出かけるって
どういづくの？

兄ちゃんとずっと
エッチして過ごすんっ

やだっもう行かない

今日の予定はとっやら決まったみたいだ。
ミキが一日中相手してくれららしい。
めったにないことだから今日は
ミキとの交流を深める日にするか。

なんだかんだでこいつが一番
甘えっ子なんだよなあ
末っ子のアキよりも全然……。



あッ

♡

あッ

ん

いッ

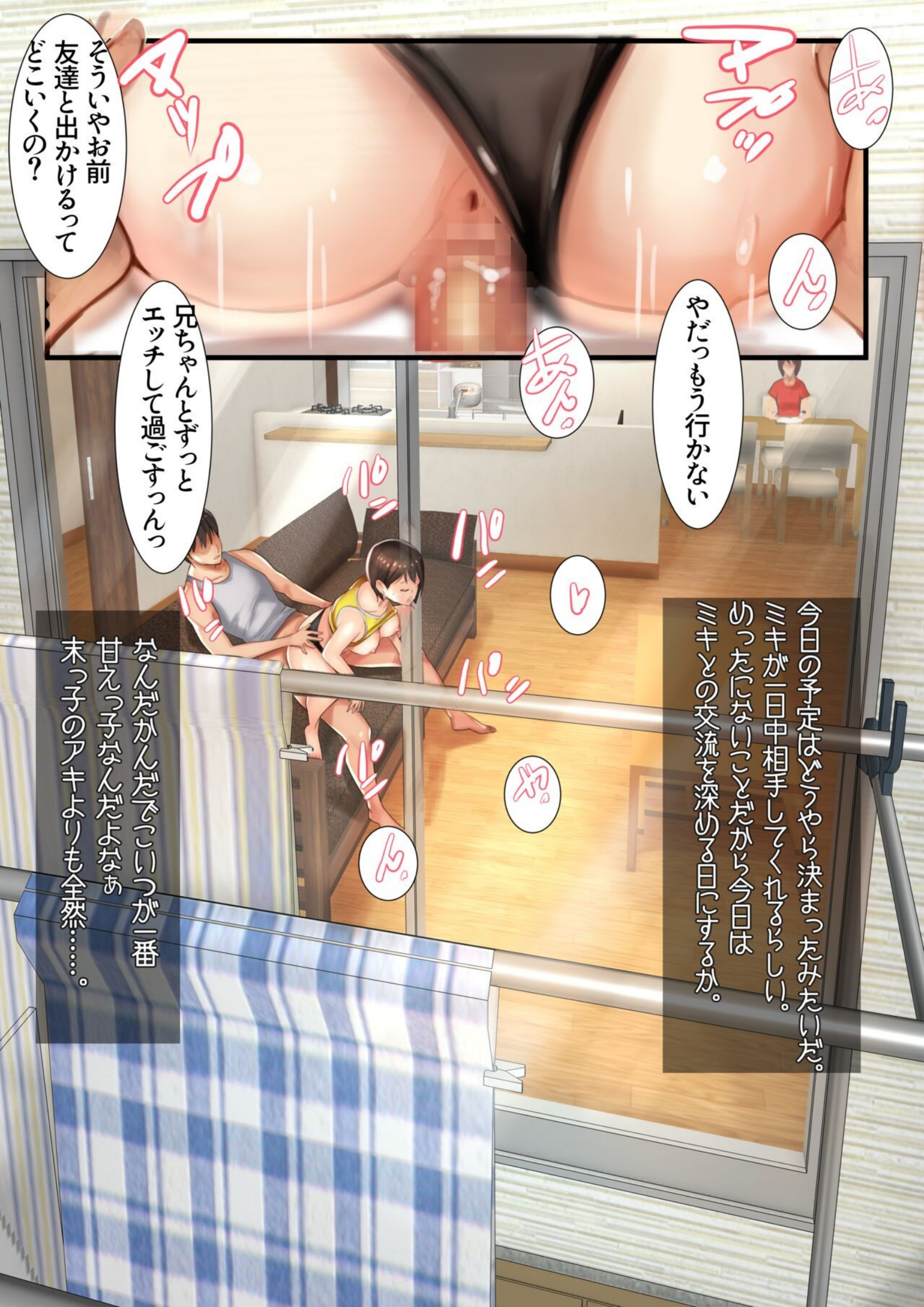
いッ

ぱッ

いッ

ん

あッ



おはよー

サキお姉ちゃん

おはよーアキちゃん ♡

おはよーアキ

バカッ ♡

おはよーアキ。
今日は早いな…。

本好きのサキとは話が合うらしい。
たまに二人で書店とかが出かけてたりする。
まあ別にアキは誰とでも仲良くするから
俺たちが嫌われてるとかそんなんじや
無いんだけどね。

我が家の可愛い末っ子のアキ。
兄妹の中で一番のしつかり者だ。
兄の俺でもアキには頭が
上がらないことがある。

やんえちよつとをぢやったつ



あん

あ。

んん!!

んん

ん

んん

んん

んん

んん

んん



この後俺とミキは末っ子のアキに
ポリウムを絞るようにと怒られた。
そしてミキは友達との約束を延期して
一日中俺とのエッチに付き合ってくれた
合計8回ほどやっただ俺とミキは
翌日の昏まで爆睡した。

気持ちよかったかミキ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

めちゃうちゃ
気持ちよかった...

次回は長女か四女か!?



んん…。
甘い匂い…。

あ、起きたかな？
お兄ちゃんおはよー。
そろそろ起きないとママたち
帰ってくるよー

四女のアキ。
普段はしっかり者で他の妹たちも
マキの言うことには素直に
応じたりする。
だけど週に二度くらいこのペースで
エロエロモードに入る。

それになんだか
あそこが気持ちいいような…。

んん…？

んん…アキ…？

五人兄妹の日常～4女アキ～

エロモードに入ったアキは他の姉妹にも劣らずエロくなる。だから普段のしっかりした時とギャップがすごくて俺はそこに興奮してる。

いつからいたの？
全然気づかなかったんだけど

ふお？
20分くらい前かな？

え！？
そんなに！？



全然
起きないんだもん

ごめんごめん

それにしても、まさか目覚める前からフェラされてたとは気づかなかった。昨日も夜中までエッチしてたから疲れてたのかもしれない。

あーそれにしてもいい目覚めだ。
可愛い実の妹にフェラナれながら
やさしく起してもらええるなんて
最高じゃないですかー！

あーアキ…。
ちよつともうやばいかも

ん？
いきなり？

毎朝こんな起つてなれ方したら
その日二日誰にでも
優しくなれる気がする。
それくらい幸福度が高い。

いっ
いっ

いっ
いっ

いっ
いっ

いっ
いっ

いっ
いっ

いっ
いっ

いっ
いっ

いっ
いっ

それにしてもアキのフェラが
うますぎてすてにいきやつ…。
気づけなかった20分がもつたいない

うん
気持ち良すぎてやばい…

いっ
いっ
お口にだしてらら

まじか…あつ

いっ
いっ



あああああああ
きもちいいいいいいー
アキーーーーっ!!



ちよつアキ
今イツたばかり…

やんたちには
何度も中を出してゝるくせにー。

ヌキ
ヌキ

それにこの体位
お兄ちゃん好きでしょ？
アキ知ってるんだから。

なっ
すすきだけど

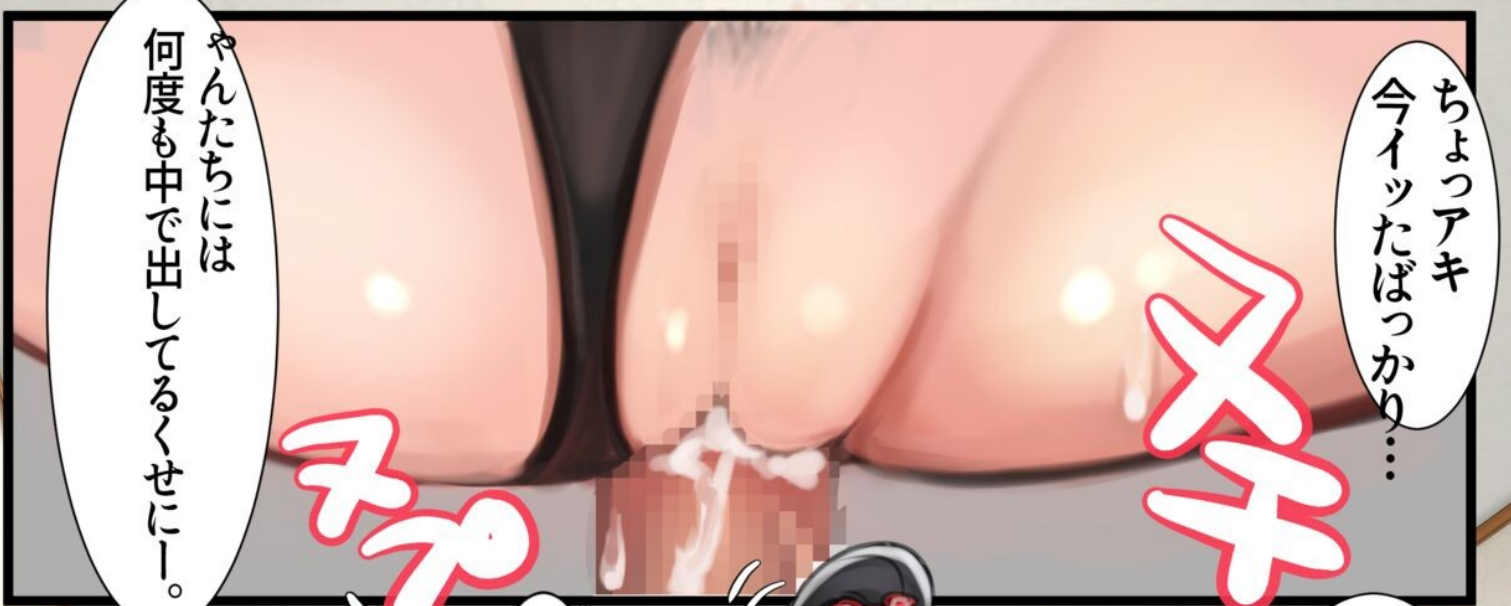
へへー
アキの中に入ってくよー

ほら見てー
お兄ちゃん。

ヌキ
ヌキ

ヌキ
ヌキ

こうなったアキはほんまエロい。
こいつが彼ったらいいのにな
思ってしまうほどだ。



どうお兄ちゃん
気持ちいい？
アキのお〇んこ
気持ちいい？



あ

ん

ん

ああっ気持ちいいよ
ぬるぬるっ

あ

ん

ハキッ

ホッ

あ

アキもお兄ちゃん
のち〇ぽ気持ちいいよ

気持ちいいけど
一度態勢を変えさせてくれ

ズッ

ズッ

ズッ

ハキッ

ハキッ

ん

ん

ん



今日のアキはいつもより積極的だ
昨日〇キとのエッチを見せたからか？
今度またアキの見えろとこで
試してみよう...



騎乗位は好きだが、あのままだと
またすぐにいつてしまいつつだったので
あえて態勢を変えた。
さすがに寝起きですすぐの度はきつい…。

そういえば母さんたち
いつ頃帰ってくるって？

んーお昼ごろ
じゃないかなあ

さっきママからメール
あったけど、お昼お寿司買ってくるって
言ってたから。

今日はできれば二日中アキとエッチを
したかったが、両親がそろって出張から
帰ってくる日だった。
つんぱんにエロいアキはめったにないのに
まったく…。

うん
でもウニ苦手だから
また取り換えっこしてね。

寿司かーいいね。
アキ好きだもんな。

オッケー。

俺もアキの小さい
お尻見ながら入れるの
めっちゃくちゃ気持ちいいよ。

あんっおにいちゃん
これすごく良いかも…



ぐおおおー！

あはははっ
なにそれおにいちゃんっ

このままアキの部屋
行くかー！

それはだめーっ

なんでー？

お姉ちゃんたちに見られたら
恥ずかしいでしょー！

ははは

意外とこういう子供っぽいのが
アキにはうけるかもしれない…。
しっかりしてもやはりまだ幼いところがある。

大丈夫だって
まだみんな寝てるからー

だめーっ



わっ！

ビクッ

ビクッ

ビクッ

よおー。
おはよーアキちゃん。
なんだか楽しそうだなあ

おはよー

ハイチーズ

カニキ

お、お姉ちゃん...
な、なによお...
私だってお兄ちゃんとエッチしたいもんっ

って今なんか写真
撮ったでしょー！？

キキ



まったく。みきのやつ、また俺のエッチの最中に
割り込みがっ！
あとでお仕置きしないとだな。
とにかく今はアキとのえっつちに集中しよう。
そろそろ限界が近づくだ...

もーミキ姉ちゃんに
写真撮られたー！

大丈夫。
あとで俺が消しといて
やるから。

ほんと？絶対だよ
絶対の絶対だよ！？

大丈夫。
まかせとす

アキ...俺もう
そろそろ...

いいよ。アキの中に
っぽら出してっぽらっ

あとで画像送ってもらおう



ほんとだー。
アキがこんなにはじけるの
珍しいねー。

私も記念に
撮っておこう。

カメラ

エッチに体力を完全に失った俺とアキは
ベッドに倒れ気絶するように眠りに落ちた。
そして母たちが帰ってくる頃に4人の妹たちが
優しく手つきで起こしてくれた。

つづく

さーてお風呂でも入って
さっぱりしよーかなーっ

って!

く
く
ん

の
び
く

が
ら
が
ら

マキ!?
そんな格好でなにしてんだよ!?



あ、お兄ちゃん。お風呂？

私もう終わったから使ってもいいよー。ストレッチやったら出るから気にしないで。

マキ…おまえ

そんなかつこうでストレッチとか…

開けたのが父さんだったらどうすんだよー？

えー大丈夫だって。父さんちゃんとノックするし見られても別に減るもんじゃなし

ビクッ

ビクッ

のび

んあ♡

んあ♡

んあ♡

長女のマキは俺より1つ下だ。
わりと自由奔放なところがあってサバサバしてる。
だから周りからよく相談事とか持ち込まれる。
そういうタイプだ。

そういうことじゃなくて

二人が家にいるときは
普通にしなきゃだめだろ!?

あんっんっ
ごめんなさーいっ。気を付けるっ

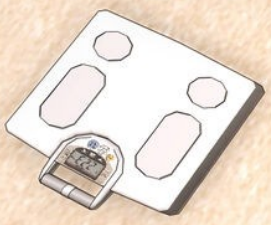
あ

ん

マキは俺のよき理解者でもある。
俺が妹たちとエッチできるのも
マキの協力があったおかげだ。
だから俺の中で特別な存在
だったりもする。

♡
っってお兄ちゃん♡
声出ちゃうからっ♡
バレちゃうからっ♡

ゆっくりやるからっ♡



最近マキにあまりかまってなかつたから
こいつとするの久しぶりでなんか
緊張するな。

にしてもあいがわからずムチムチのいい体してる。

たてるか？
そこにつかまって。

うん

そういえばストレッチ
してたんだよね？

よく伸ばしてー

のびん

ん

ん

ん

あ

♡

ズッ

アッ

ズッ

アッ

そういえばさお兄ちゃん…
すくく言いくくいんだけど…。

なっなにーうなこ？
怖いんだけどー？

実はあれが遅れてて
できちゃったみたいなんだよね…。

ん



えっ!!

えっ!!

ガッ

えっ!!

あははははっ
びびりすぎでしょーっ
なにその表情
超うけるんだけどー!



はー笑った!



大丈夫大丈夫
全然そんなことないからっ

ちよつとびっくりさせようかと
思ったただけだから安心してー!
でも面白かったから後で
みんなに言おうっ。

はっ!!

この時はマジでズビズビだった。
一瞬だけどますがにこの関係が
終わりなのかと頭をよぎった...

おまえは——！

なんかデジャブな気がしたのはこの前のミキのあれか！
まったくこいつら二人似やがってこれからも中々出しまくってやるからな！



あら？マキ
はいつてたの？

あんた髪染めたの？
金髪よりこっちのがいいわよ。

ま、ママ。
ありがとう。

私もこっちのが
気に入ってる。

そっか、こいつ昨日まで
金髪だったな。

あんたが悪い方に
いくんじゃないかと
思って心配してたけど
安心したわ。

もう
大丈夫だよおー

ミキがすぐ
あんたの真似するから
心配なのよ。

ううっ…。

母さん話が始めると
長いんだよねあ…。
このままじゃすっごく嫌なすっごく



あんだ長女
なんだからつもつとしつかりしないとい

は...

おかーさん。
携帯に着信あつたみたいだよ

あら
こんな時間に
誰かしら？

急用なんじゃない？
早く出たほうがいいよー

そうね。

ナイスアキー！

さすがです！



あぶなかったねー二人とも
私がいなくてどうなってたか。

二人とも貸しねー。

ありがとうアキ。
まじで助かったー。

アキちゃん
ありがとうねー。



えー。

アキ、そろそろ
いきそうだから
手伝って。

じゃあお兄ちゃんは
貸し二つねー。

お兄ちゃん
乳首気持ちいい？♡

ああっ
それ最高っ！

マキ、あそこ締め付けすぎ
すぐいっちゃおうって

だって気持ちいいんだもんっ♡
お兄ちゃんこそち○こ
さっきより大きくなってんじゃん♡

そりゃだって
こんなに気持ちよけりゃ
そうなるってつくっ

マキ
中に出すぞっ

いいよっ♡
いっぱい出してっ♡
お兄ちゃんのいっぱい
だしてえー！♡

そうだな！
わすれてたっ

そろそろでないと
またママが
戻ってきちゃうっ♡

110

110

110

110

110

110

♡

♡

♡

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

おん



マキとエッチした後
家族全員で夕飯を食べた。
そして兄妹そろって
借りてきたDVDを観ながら寝落ちした。

俺はこの家族に生まれて幸せだ。
こんなラッキーな人生はなかなか
無いと思う。

そして明日からまた妹たちとの
エッチな生活が続くのであった。

おしまい
❤

あ、お兄ちゃんおはよー。

ちようどよかった。
私顔洗うから
ちよっとおっぱい持ってて

おはよー！…

わかった！。

これが毎朝お決まりの妹との会話だ。
妹はノーブラ主義で
顔を洗う時、おっぱいが洗面台について
冷っとするのがいやらしく
毎朝俺がおっぱいを持つのが
日課になっている。



帰りにコンビニ寄るんだけど
ついでに何か買うものある？

あーそうだなあ

じゃあついでに
今週号のジャップ
買ってきて

オッケーだよ。
私も読みたかったし。

おせー

お金はあとで
払うわ。

うん
オッケー。

朝の何気ない妹との会話が
俺的には気に入っている。
兄妹で朝から普通に
コミュニケーションできるのは
とてもいいことだ。



もしかして
また大きくなった？

もーやっぱりー？
なんかまた重たくなった気が
してたんだよねー。
そろそろ成長止まってほしいマジで。

妹のおっぱいの成長が
止まらない。
毎日持ってるから
少しの変化も分かるようになった。

痛くない？

まあ巨乳好きの俺にとっては
好都合だが、当の本人は
重たくて嫌らしい。
少しコンプレックスも
感じてるっぽい。

大丈夫よ

ごめんねお兄ちゃん
毎日持ってもらって。
持ってるの疲れるでしょー？

いや、ぜんぜん
大丈夫だよ…。

むしろ感謝。

ん

おにいちゃん…
すごい当たってるんだけど…。

すまん…

んっ

いいよ別に…
どうせお風呂入らなきゃだし

…。
だしてもいいよ。

時々だけど
妹は挿入を許してくれる。
おっぱいを持ってってくれる
お礼とでもいうのか…?
とにかく俺的には倍嬉しいことだ。

我が妹ながらいいお尻だ。
しかもあそこに入れたとき
締め付けがすごくて
すぐにでもイってしまいそうである。

くっ…
気持ちいい…。

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡

別に早漏ではないんだけど
時間をかけて楽しんで
妹の朝の支度の時間を妨げるのはよくない。
しかも気を使って念入りに洗顔してくれてるし！

寝起きで妹のおっぱい揉めて
さらにチン〇も入れていいとか
俺はなんて幸せ者なのだろう。
通りで世の中に不満が無いわけだ。

ああ
めちやくちや
気持ちいい…

ぬる
ぬる
ぬる

おにいちゃん…んっ

ひゃっ

ううん大丈夫
ちよつと刺激が
強かっただけ

ごめんっ
痛かったか？

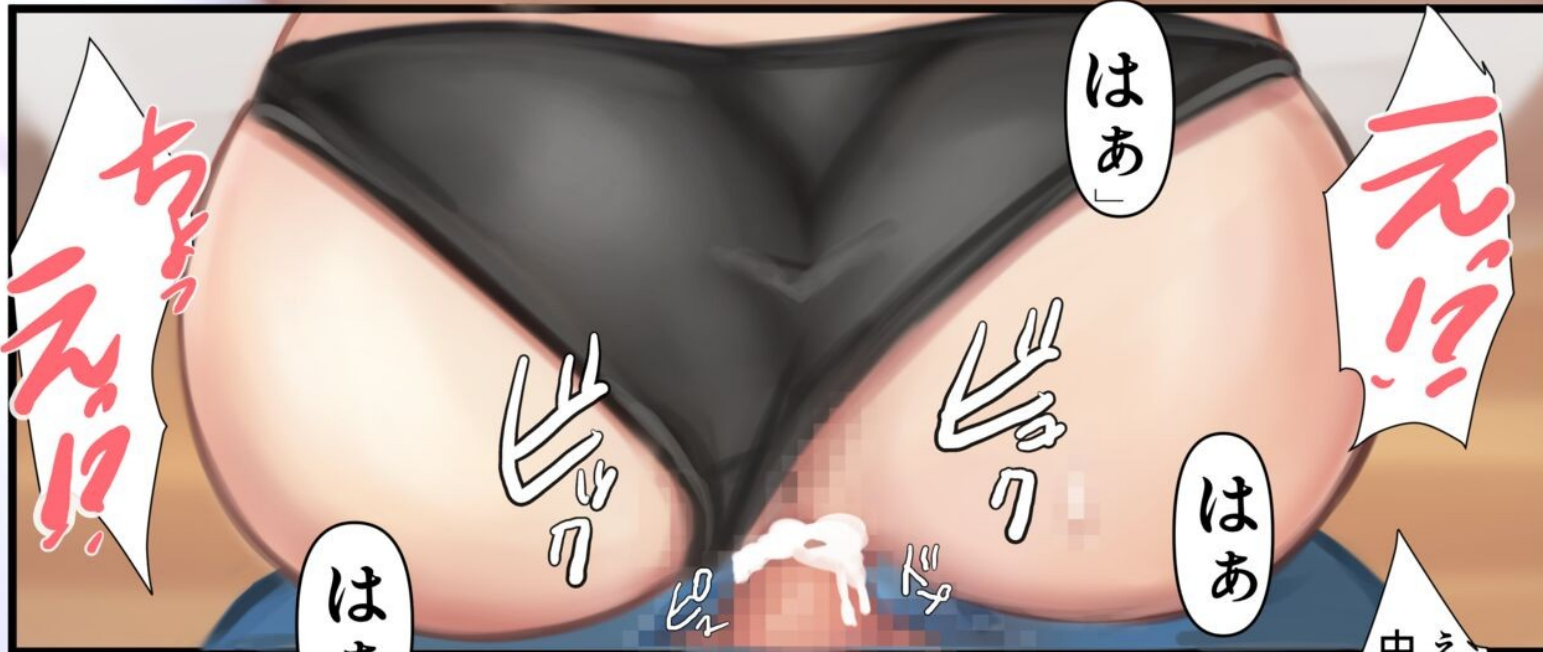
すまん…
気持ち良すぎて…
勝手に腰が動いて…

んっ…もう早くイってよお
お母さんに声聞かれちゃう
ああんっ…んっ

ちよつ、んっ…おにいちゃん
声出ちゃうからっあっ
もつと…んんっゆっくり…
あんっ…もつとゆっくりして。

んっ
んっ
んっ

んっ
んっ



えん!
えん!

はあ

えん!
えん!

はあ

はあ

びゅん
びゅん
びゅん
びゅん

えっ!? ちょっとまって
中でだしたの!?



もー! ちゃんと
外に出さないと
だめじゃない!

はあ

すまん
がまんできなくて...

はあ

はあ

妊娠しちゃったらどうするのよ!?
ほんとありえないんだけどっ
おにいちゃんのバカ!

すまん...



こんなになんて声を荒げた妹を見たのは
初めてで、その迫力に俺のちん〇は
すっかり縮みこんでしまい
中に入ったままのソレは
抜くというより抜けた...

その後もこっぴどく怒られ
2,3日は口もきいてくれなかった。
たった一度の己の欲望のために
妹との幸せな時間を壊してしまつたことを
酷く後悔した...
もう二度と妹とできないかと思うと
絶望して何も手につかない日々が続いた。

早く抜いてよっ

もう抜けてる...

.....

お兄ちゃんおはよー...

お、おはよー...

しまった...
てつきりもう済ませてたのかと
思ってたのに...気まずい。

顔洗おうと思ってたんだけどさ...
ちよっとおっぱいが重たくて...
洗面台に乗っけるのも
嫌だしさ...

だからさ...
よかつたら、その...顔洗ってる間
おっぱい持っていてくれないかな？

はい！！

もう駄目だと思ってた兄妹仲も無事回復して
俺はまた妹のおっぱい持ち担当として
復帰できることになった。
おしまい★